

ニュース

【売買】プロフィッツと相鉄UCが200億円のオフィス投資へ、上原で第1弾

2023.10.03

不動産投資顧問会社のプロフィッツ（本社：千代田区）と、相模鉄道傘下の相鉄アーバンクリエイツ（本社：横浜市）は、中小規模オフィスビルを中心に取得・開発やバリューアップを共同で進めていくことで合意した。第1弾として9月29日、渋谷区上原1丁目にある複合用途ビル、CABO ueharaを相鉄アーバンクリエイツが取得。プロフィッツがアセットマネジメントを手がけ、賃貸運用していく。

地下鉄・小田急線代々木上原駅の南口から、急坂を上ってすぐの場所に同物件がある。地上5階建て、延べ床面積1122m²の規模だ。1階は複数の店舗区画で、一部は2階とつながったメゾネットタイプ。取引時点でカフェやブックストア、レストランが入居中だ。2階～3階は小規模なオフィス区画と住宅区画、4階～5階は中規模のオフィス区画で、デザイン会社やコンサルティング会社などが入居している。

土地は元々、個人が所有していたが、2018年に国境なき医師団日本（本部：新宿区）に遺贈。2019年、アンセム（本社：渋谷区）の所有を経て、加和太建設（本社：静岡県三島市）が取得した。同社は、ブランド開発やコミュニティーデザインなどを手がける301（サンマルイチ、本社：渋谷区）や、プロフィッツとともに、CABO ueharaを企画し、2022年から2023年にかけて開発した。

相鉄アーバンクリエイツはプロフィッツとの協業を通じて、今後3年間で200億円程度の投資を見込む。1件あたりの金額は10億円～100億円程度。オフィスニーズが堅調な東京都心の中小規模オフィスを取得していく計画だ。



CABO uehara

[画像のクリックで拡大表示]

[売買の概要]

名称：CABO uehara

買い主：相鉄アーバンクリエイツ

所在地：渋谷区上原1-32-3（住居表示）、1-1296-14ほか（地番）

最寄り駅：地下鉄・小田急線代々木上原駅徒歩1分

面積：土地722.31m²、延べ床1122.40m²

構造：RC造

階数（地上／地下）：5／0

用途：店舗、事務所、住宅

用途地域：第一種住居

容積率：300%

竣工：2023年

取引時期：2023年9月（引渡）